

339  
1010



始



339  
1010

佐渡名勝地圖

信田禾堂編

完

帝國圖書館

### 佐渡名勝

#### 總説

佐渡は追門の義ならむか、太古は東西の海水深く入り、一帯の海峡をなして、今猶形跡の如し。東海は越後、西南は能登半島に對し、西北一帯日本海を隔て、遠く露嶺に相對す。廣袤東西三十三里、南北六里、周回五十四里、面積五十六方里餘、所謂大八洲の一なり。成務帝の御時、始めて國造を置かれ、王朝の制、中國にして國司を任じ、天平中、越後國に併し、六年を経て舊に復し、源右府藤原公實に開くに及び、藤原の人本間忠忠、此國を守護し、其子孫十數家に分れ、遠谷、藤原、土屋、名古屋の四氏と共に各地の地頭となり、天平中、越後の主上杉氏に歸し、遂に豊臣氏の有となり。慶長六年、徳川氏佐渡奉行を置きて、民治及嶺山の事を管せしめ、明治元年、佐渡縣を相川町に置き、やがて相川縣と改稱し、同九年新潟縣に併せ、其支離を併せし事四年、同十六年二月、維新、加茂、羽茂、三郡役所を設け、同廿九年四月、併せて佐渡郡と改稱せり。町制は元禄以降、二百六十一と數へられしが、明治十二年以降、中邊の地と定められしより以來、配流者頗る多く、從つて其遺跡また少からず。殊に到る所、山水明媚、佳景絶勝なるに遠なきが如し。加ふるに民俗質實、民情樸すべしあり、げに日本の蓬萊地といふべからむ。いでや、名勝遺跡の主なる者を略述せん。

#### ●兩津より相川に至る 名勝古蹟

兩津町 (美、海、の兩町を合稱せるなり。慶應中、新潟開港場の附帶港となり、後、こも亦開港せられしにより、船船常々往來し、繁盛を極む。  
加茂湖 (兩津町) 一名越の湖、又湖と云ふ、周回五里餘、遙に突たる金山を望み、近くは兩津を擁護の間に、其風景の絶佳なる當國の最とす。  
兩津橋 (同上) 湖水を呑吐する湖口に架せる橋なり。東は磐海、西は湖山、其風光實すべし、歌磨山人、右左湖と水とにうつり見る兩津は月の歌磨山、圓山先生詩、(淡町) 妙法寺境内に、碩儒漢北、其父峰高二先生の墓あり。  
松 (河崎村、原黒) 加茂湖邊にある老松なり。湖の風光を一眺に收む。唐門の浪、推しの松に風を渡るらん、と風流の歌、水鏡庵 (新橋村) 湖上湖水の南方高丘にあり、庵側的小亭を八勝樓と名づく、此處より湖山を望ましか、宛然畫圖を展ぶるに似たり。彦章  
寶利地無地 天時白龍  
鳥崎 (吉井村) 湖邊の西岸なる一帯をいふ。湖の老松は彌住吉より移植せりと傳へらる。  
小湖 (龍米) 湖の西岸にあり、惟と相對し、湖邊に一瀨あり、湖邊に記あり。  
瀧 (長江) 當國式内の第九なり。加茂氏の祖天香日命を祀り、此地は和名妙新瀧の實地なり。  
吉井城址 (吉井本郷) 地頭藤原大和守秀房の居城也。城の高嶺、當國第一の高嶺金山北山の頂なり。雪の高嶺と云ふ、頂上より俯し望ましか、本島は更なる、海波千里遠す所ならん。  
北山社 (金山北山の頂上) 神代元年、行者役の某、始めて勝軍地を安置せしに起り、後、大産命を祀り、今、維太の地頭本間信清守始めて社殿を築造し、慶長中、奉行大久保石見守、一國の總領守と定め、官材を以て社殿を修造する事とせり。  
名古の遺蹟 (金澤村、新橋) 田間にあり、二橋を連架す。  
春來ての名古の遺蹟なごやかに霞渡り遠近の里  
明治紀念堂 (同上) 日清の役以降、國家に殉じたる當國軍人の眞影、及び紀念品等を陳列し、其忠魂を慰め、且、尚武の風を振起せしめんが爲に建設せるなり。開導館亦一覽の價あり。  
千種の花塚 (千種) 一名千種の里。順德上皇嘗て花園を設けさせ給ひし所なりとぞ。宗扎  
赤松 (同上) 天和川實業坊境内にあり、大久保相州藩愛宕村春草 櫻花如雪映朱欄  
飛騨新築夕陽影 誰作水鳥驚外看  
井月堂 (中興) 文中、日遊上人、申入道に請ぜられ、信者の爲に曼荼羅を認むるに用ひし井水なりとぞ、今も御井戸と稱して遺蹟とせり。  
四蓮寺 (同上) 貞和年中、畑郷の地頭本間左衛門四郎有綱、西祐と號し、開基すといふ。  
黒木の御所址 (泉) 今、彰顯の中にあり、順德上皇の御假宮址なり。傍に御腰掛石、龍燈松等の遺物あり。  
本光寺 (同上) 泉の觀音といふ。正中中興の地頭本間入道が次男日性、順德上皇の守本寺守護の職たりしより、本寺を建て、其像を安置せりとぞ。尊像は聖德太子の作、御丈三尺、今國寶たり。  
荒木神社 (同上) 古、國造大荒木直、其祖先を奉祀せ

#### ●相川より西濱を経て 小木に至る

本間相共が建設せるなりとも、未確證をえず。  
小松山實相寺 (二宮村、市ノ澤) 日遊上人、毎に旭日を拜せし所なりとぞ。境内に聖徳掛松あり、又、味方里馬の塔あり、凡二丈。  
法華山妙照寺 (同上) 學業坊日靜の開基。日遊上人、文永四年四月、同十一年三月迄開居の地なり。本宗にて寺號最初の靈蹟とす。  
郷社二宮神社 (二宮) 順德上皇の皇女忠子玉を祀る。古は玉島姫大明神と號す。貞永元年降臨、御年十八にて薨じ給ひり。  
長木の里 (長木) 平野なる平野を隔て、前山の麓、錯落たる里馬を一時のたあつむ、其景實するに堪へたり。玉島姫の跡  
春の日の長木の里は隣より隣つゞきに梅香する東福城址 (石田) 一名獅子ヶ城、當國最初の守護、本間右馬允忠の子、能久の居城、天平中、本間氏亡びて後、徳川氏の初まで、一國治府のありし所。明治廿年、佐渡中學校を此所に設く。  
本間太郎右衛門基 (同上) 宗室室太郎右衛門曾て辰巳村を開墾す。會々享寬延の凶作に際し、同志と謀り、減租免稅を幕府に哀訴し、實曆二年七月、結黨強訴の罪に問はれて斬せられし。  
音羽池 (音羽) 陸奥の山中池に、小徑を通ずるの分、池あり、周圍凡三十間、池中に浮島あり。  
歐羅巴所坊 (中原) 弘仁中の開基、僧侶の邪正を糾明し、遠祖の靈あるに於ては、故門の沙汰に及ぶべしと云々、後花園帝の口宣案を藏す。  
郷社諏訪神社 (河原田町) 仁和二年、信濃の人金利三郎、同國諏訪大神を分靈せしに創まる。祭儀は、今尙元龜天正の古式を傳へたりとす。  
越の松原 (添はずの社) といふ。八幡、河原田、一帶松林の稱なり。藤原 信實  
沙風にえやは向はむ枝も葉も背きて立る越の松原  
白山城址 (澤根町、澤根) 四濱一帶の地頭本間清津守の城ありとす。  
貝立 (同上) 小き帆立貝、蟻枕など土中より出づ、桑田の戀戀とす。  
鶴子銀山 (同上) 天文十一年、始めて採掘し、一時隆昌を極め、此所に百枚の外遊坑といふ多かり。  
桃林 (同上) 花時自ら園をなせり、宜しく一日の清遊を食するべし。  
紅葉山 (同上) 中山上に春日若宮の祠あり。滿山の紅葉、宛ら友誼を掛けたるが如し。  
相川 (同上) 古は極めて盛衰する漁村なりしが、慶長年中、中興山開け、大いに治府を移されしより、元和の比は民口廿萬に近かりとす。現今は郡衙、警察、地方裁判所支那、區裁判所、監獄支那、稅務署、郵便局、新聞社、銀行等あり、戶數二千餘、人口壹萬壹千、市街頗る繁榮、本州第一の都會とす。  
相川 (同上) 慶長六年、發見す、時に盛衰ありしも、今に至るまで採掘つゞき、明治の初年官山となり、同二十二年帝室の御料となり、同廿九年、時氏の私有に歸し、慶長十八年、明治廿二年三月に至る、金銀の産額、凡通貨壹億四百九拾三萬圓、明治四十四年中の産額、金壹拾五萬、銀九萬、百四拾七萬、此代價七拾萬六千七百七拾九圓、製錬所 (同上) 明治四年の建設にかゝり、橋、溝、洗、分析所等規模頗る大なり。  
郷社善知鳥神社 (下川) 仁平中の創建、住吉三柱の神を祀る。とも善知鳥七浦の鎮守たりしが、慶長九年、相川の總領とせり。  
縣社大山神社 (山) 神代元年、嶺山の鎮守として、奉行大久保石見守安當に祀るなり。  
天宮 (夕日町) 古、四日町大願寺の鎮守たりし、天正兵衛の際、遺臣同皇王村極樂寺に移し、後佐渡奉行河村氏、此地に遷し來りしなり。  
鏡目市左衛門基 (吹上) 元和中、佐渡奉行たりし、二十年、治蹟あり、信州上田の合戦に七本鎧の一、青柳山、相川最初の鎮坑。看月の名所なり。  
千疊敷 (下相川) 當國の北方、海上にある平岩なり、遊客常に絶えず、佳景稱すべし。久留 一隻  
平らけき御代のししか遊學千枚敷とも餘る數は  
大乗寺の櫻 (山の神) 陽陽胎胎たる交、花下士女絡繹たり。  
淡路水水如紗 鹽日行不在家  
鳥嶺紅紅入塵 大乗寺裡賞櫻花  
大久保石見守基 (江戶澤町) 守は、慶長八年佐渡奉行に任ぜられ、在職十年、大安寺を創立し、生前この寺に築き、惜むべし、寶曆中、堂宇火けり、小倉船基 (鹿伏、觀音寺) 大納言實起、天和元年遊跡の事により、其子公連、季伴二卿と共に配流せられ、貞享元年三月、六十三歳にて薨じ、長子公連、嗣きた同年九月卒せられし。  
春日 (鹿伏) 文化の頃、遠見所及び大筒を置き、外寇に備へし所。水天寺、夕陽、ともに明也。  
大岡三郎基 (春日) 時、承應元年、由井正綱の事、に連座して、父と共に流さる。源三槍法に精し、門下頗多し、同年五月十六日、に自殺せりとぞ。

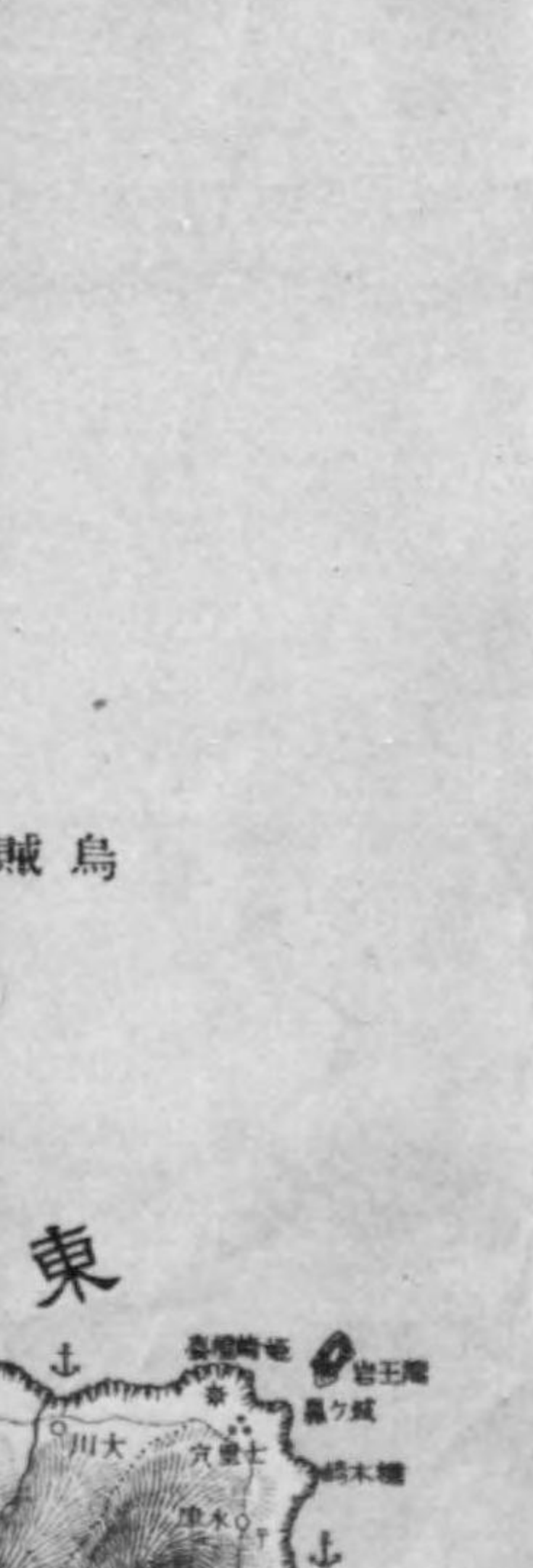
#### ●兩津より前濱東濱を経て兩津に至る

草刈の里 (羽茂村) 古名勝なり。順德上皇の御所を建て、來しかとも胸に物かよ  
越の菅原 (同上) 四部にあり。壬生  
知らざりき越の菅原枯果て、假にも逢ひ  
れりとも、既に、菅原氏の祖先を祀り、  
新倉山社 (同上) 弘仁二年、嵯峨天皇  
依て建立す。天正の兵亂に、堂宇強く破損  
羽茂城址 (同上) 地頭本間式部内、大  
國幣小社、度津神社 (飯岡) 當國式内の第一  
の宮と稱す。素戔嗚尊の御子五十猛命を  
祀る。松が崎村) 古の松前郷なり。上古以  
にして、國府に通ずる驛路の起點なり。  
本行寺 (同上) 日遊聖德の遺蹟、雨乞の經  
御傳 (同上) 本行寺の近傍にある老松なり  
人、尊卑の際、三重夜雨を渡がれし所な  
り。  
美老澤 (岩村) 岩岩峻嶒、海を渡る、  
大踏敷 (水津村) 日野阿彌、父の仇  
時、大に力を盡し、修験、大踏敷の房屋、  
風鳥 (片野) 巖然たる鳥頂に市井島を築  
野尾の神天と稱す。本邦七神天の一なり。  
明 (同上) 海中にある怪巖なり。巖阿小舟

138°30'



日本海



日本海





東 津 浦  
東 賊 烏 鰯 浦  
東 津 浦

大正九年七月十八日印刷 定價金三十銭  
大正九年七月二十日發行  
發行所 新瀉縣佐渡郡相野村  
編輯者 佐渡商會社書務部  
右代表者 渡邊芳松  
印刷者 東京市京橋區南大工町五番地 成島榮次郎  
印刷所 東京市京橋區南大工町五番地 成島榮次郎  
新瀉縣佐渡郡相野村 佐渡商會社書務部  
電話相野 六番

池の清濁、御堂及御堂等を火き、山嶺に埋む。  
... (Text continues with historical and geographical details of the region, mentioning various temples and local legends.)

**● 兩津より眞野に至る**  
國中線沿道  
... (Detailed text describing the route from Futatabi to Makino, including local landmarks and historical sites.)

**● 相川より海府浦を経て 兩津に至る**  
... (Detailed text describing the route from Aikawa to Futatabi via Utsunomiya, including local landmarks and historical sites.)

**● 特別遊覽案内**  
加茂湖の探勝 片舟を浮べて湖山の風光を採る尤與あり... (Special sightseeing guide for Kamakura Lake, describing boat tours and scenic spots.)

**● 小木より前濱東濱を 經て兩津に至る**  
... (Detailed text describing the route from Komaki to Futatabi via Maehama and Higashimatsubara, including local landmarks and historical sites.)

**● 此地に配流せられし 重なるもの**  
... (Text discussing the historical significance of certain locations and the overlapping of legends or events.)

**● 來遊者の土産物**  
無名異國器 (相川) 常山、赤水の製、蓋類一個或拾錢以上... (List of souvenirs for visitors, including various items and their prices.)

**● 國勢一覽**  
佐渡國 周圍五十三里、面積五十六方里、東四十四里、南廿六里、西廿七里、北廿七里、人口十一萬三千一百六十八、地價二百七十八萬八千八百八十四、小學校六十四、神社三百九十三、佛閣六百八十八、... (Overview of the political and administrative status of the region.)

**● 兩津より眞野に至る**  
國中線沿道  
... (Continuation of the route description from Futatabi to Makino.)

**● 相川より海府浦を経て 兩津に至る**  
... (Continuation of the route description from Aikawa to Futatabi via Utsunomiya.)

**● 特別遊覽案内**  
加茂湖の探勝 片舟を浮べて湖山の風光を採る尤與あり... (Continuation of the special sightseeing guide for Kamakura Lake.)

**● 來遊者の土産物**  
無名異國器 (相川) 常山、赤水の製、蓋類一個或拾錢以上... (Continuation of the list of souvenirs for visitors.)

**● 小木より前濱東濱を 經て兩津に至る**  
... (Continuation of the route description from Komaki to Futatabi via Maehama and Higashimatsubara.)

**● 此地に配流せられし 重なるもの**  
... (Continuation of the text discussing historical significance and overlapping events.)

**● 來遊者の土産物**  
無名異國器 (相川) 常山、赤水の製、蓋類一個或拾錢以上... (Continuation of the list of souvenirs for visitors.)

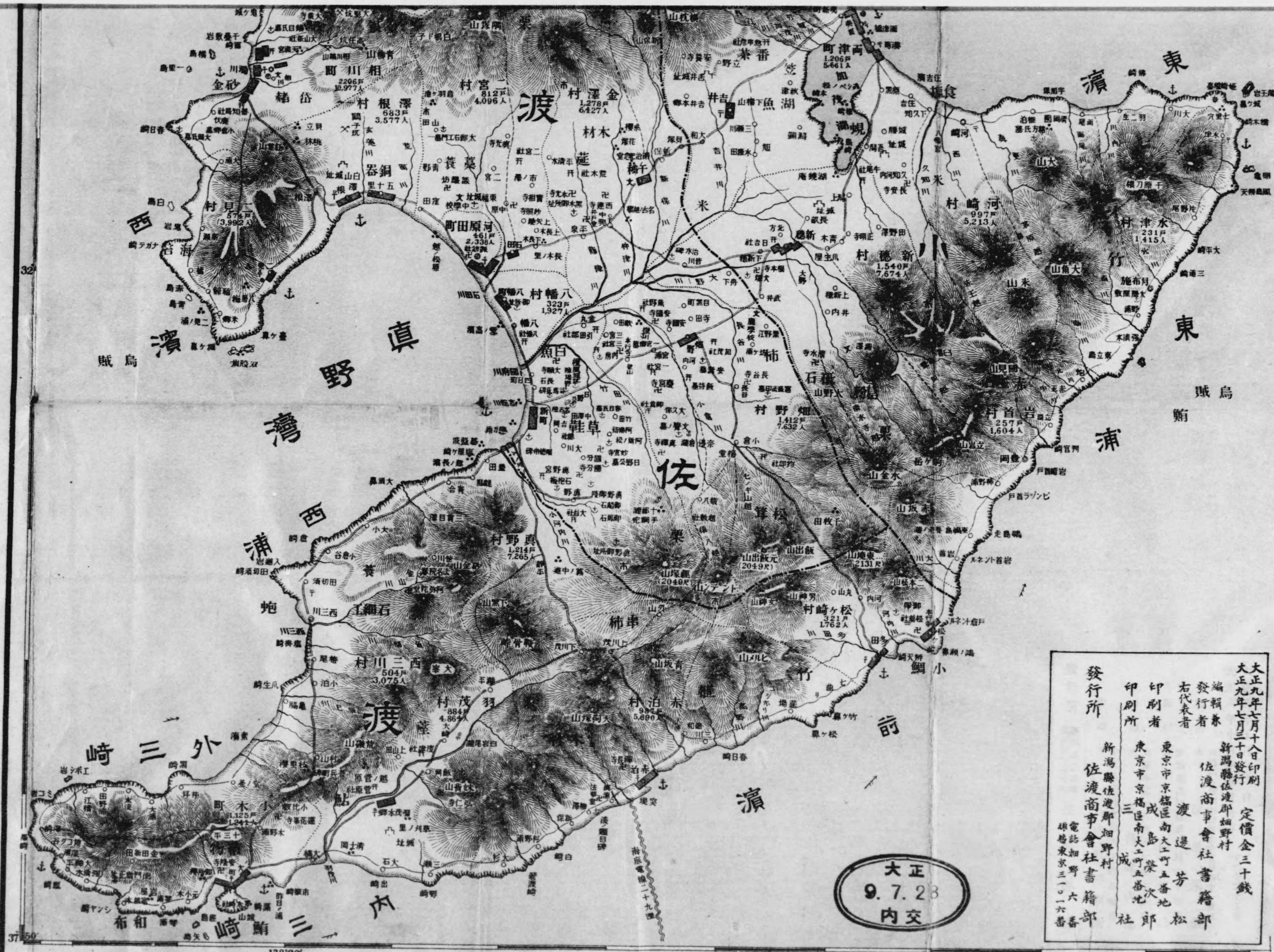
**● 國勢一覽**  
佐渡國 周圍五十三里、面積五十六方里、東四十四里、南廿六里、西廿七里、北廿七里、人口十一萬三千一百六十八、地價二百七十八萬八千八百八十四、小學校六十四、神社三百九十三、佛閣六百八十八、... (Continuation of the overview of the region's status.)

**● 兩津より眞野に至る**  
國中線沿道  
... (Continuation of the route description from Futatabi to Makino.)

**● 相川より海府浦を経て 兩津に至る**  
... (Continuation of the route description from Aikawa to Futatabi via Utsunomiya.)

**● 特別遊覽案内**  
加茂湖の探勝 片舟を浮べて湖山の風光を採る尤與あり... (Continuation of the special sightseeing guide for Kamakura Lake.)

**● 來遊者の土産物**  
無名異國器 (相川) 常山、赤水の製、蓋類一個或拾錢以上... (Continuation of the list of souvenirs for visitors.)



赤泊村、浪浦文永十一年三月日蓮上人、鎌倉に歸り、時、宿る日宗の一靈場たり。  
 題目碑 (同上) 海岸にあり、日蓮上人の遺跡なり。  
 長寺 (赤泊) 永仁六年、冷泉中納言爲兼配流の際、宿られし古刹なり。  
 松が崎村 古の松前郷なり。上古以来の公津にして、國府に通ずる驛路の起點なり。  
 行寺 (同上) 日蓮上人の遺跡、雨乞の經卷を藏す。  
 本行寺 (同上) 本行寺の近傍にある老樹なり、日蓮上人、著岸の際、三晝夜雨乞を乞はせし所なりとぞ。  
 岩手山 (岩手村、野田) 日野阿闍梨、父の仇を報せし時、大に力を盡し、修験、大膳坊の居屋敷なりとぞ。  
 野田 (片野尾) 朝然なる高塚に市野屋敷を記する。片野尾の辨天と稱す、本邦七辨天の一なり。  
 浪浦 (同上) 海中にある怪巖なり、浪浦小舟を通ず。

古江島照應大明神と號し。  
 幸崎 (同上) 一宮の御墓の邊の稱。慶子、女王松おれば佐波島なる幸島も然らずにこそ見まじしけれ。  
 慶宮寺 (同上) 大同二年の問基とも、又慶子女王追福の爲建立せりといふ。境内に八祖堂あり。  
 本光寺 (後山) 文中、僧日嗣鎌倉より、其師の教免し、狀を濟し、一時、宿せし靈場なりとぞ。  
 御食神社 (同上) 富國式内の第五、今は村社たり。  
 文學上人墓 (大久保) 文永は正治元年三月此國に流され、建治二年歿、こは追福の碑なりとぞ。  
 野田 (同上) 文覺上人、此邊の尊に草庵を結ぶ。浪浦に浴し、修法せし遺址也。  
 眞禪寺 (同上) 文覺の弟子等師が追福の爲に建てしなり。此所は文覺配居の地にして、在留四年間。

重なるもの  
 正五位上穗積臣老 養老六年、上を誦訪して流さる。  
 川邊朝臣東の女 天平十四年、鹽土の事に因て也。  
 安宿王とその妻子 天平寶字元年、播磨長門ともに  
 葛美仲麻呂除かんし、事願はれて流罪。  
 伴宿禰清經 貞觀八年、大納言善男が應天門を燒きしに座せられて流さる。  
 僧張茂 安和二年、播磨延等と逆を謀りて流さる。  
 筑前大納言守武 永承二年、私に渡來を企て流さる。  
 神祇權大納言中臣輔弘 康和五年、大納言に放火流罪。  
 從四位上源義綱朝臣 天仁二年、近江國甲賀山に録りて叛き流さる。  
 主殿助平季盛 保元三年、伊勢神人の訴に因て流罪。  
 前兵衛尉源義經 同年、延暦寺の僧を殺して流さる。  
 近江中將入道 治承元年、鹿谷會合の事に因て流罪。

●國勢一覽  
 佐渡國 周圍五十三里▲面積五十六万四千里▲東四十四里▲南北廿六里▲五町廿村▲戸數二萬七千五百九十九▲人口十一萬三千六百六十六▲地價二百七十八兩八百八十四▲小學校三十四▲神社三百九十三▲佛閣六百八十八▲  
 產物 ▲米産高一四〇一三〇石、同輸出高三一八六〇石▲麥三〇九四石▲大豆一、二七八石▲小豆二七四石▲食鹽七六八〇石▲木村一三五八石▲四(半輸出未算四四八〇石)▲同(同上)▲  
 輸出高 竹三二九二石▲鐵二四九二石▲銅二〇七石▲銀一六九四石▲銀一〇七五石▲海鹽二〇七石▲四一五七石▲鐵四八三三石▲草一六二〇石▲其他海草一七七八石▲草四九七七石▲草一六〇石▲一六〇一四石▲あけ餅四三三〇石▲四

大正九年七月十日印刷 定價金三十銭  
 大正九年七月三十日發行  
 新潟縣佐渡郡野村  
 編輯者 佐渡商會社書籍部  
 右代表者 渡邊芳松  
 印刷者 東京市京橋區南大工町五番地 成島榮次郎  
 印刷所 東京市京橋區南大工町五番地 成島榮次郎  
 發行所 新潟縣佐渡郡野村 佐渡商會社書籍部  
 電話 野村 六番 橋本 東京三一〇一六番

大正 9.7.28 内交

終

